

よきかな若人

～飯綱山こそわれらが希望～

三学期終業式 藤木学校長より

「ただ、それだけのこと」

普段なら多くの人が行きかう長野市内の夕刻。閑散とした雪道を肩をすぼめて歩きながら、こんな一句が頭に浮かびました。

三学期 雪とコロナと 御嶽海

今、私たちは、新型コロナウイルスという出口が見えないトンネルの中にいます。部活動は中止になり、楽しいはずの給食は黙食となり、生徒会が集まることができず、行事も縮小しました。毎日通うことができなくなった学校がたくさんあります。コロナウイルスは私たちから多くのことを奪いました。世界に目を向けても嬉しい状況ではありません。

しかしみなさん。こう問われたらどうこたえますか。「あなたにとつて、三学期は幸せでしたか。それとも不幸でしたか？」私なら、「幸せでした」と答えます。確かに様々なことが縮小し、目を覆いたくなるようなニュースが報道されているのはとても憂うことです。でも、そのことを「不幸」という言葉でくくりにするのは、しつくりこないと感じますが、皆さんはどうでしょう。それどころか、コロナ過の三学期でも私は幸せを感じたことすらありました。

先日、登校の際のことです。飯綱中学校の駐車場から学校に向かつて道を渡ろうとすると、雪道にもかかわらず車が停車し、私たちの横断を待ってくださいました。私たちというのは、私以外にも一人の女子生徒がいたのです。私の前を歩いていてその女子生徒は、車の方をくると振り返り、運転手さんに一礼するではありませんか。後ろにいた私が何もしないのは何だかおこがましいような気もして、私も慌ててくると振り向き、運転手さんに一礼しました。すると運転手さんにもこりと笑って、私たちに一礼してくださいました。それだけのこと。ただ、それだけのことです。

先日、掃除の時間に雑巾がけをしました。掃除の時間が終わると、共に雑巾をかけた男子生徒は「ありがとうございます」と小声で、しかしはつきりした口調で語り、一礼するのです。感謝されたのが嬉しいのではありません。「ありがとう」と思えるその心に、こちらの気持ちも晴れやかになったのです。それだけのこと。ただ、それだけのことです。

一年生の総合的な学習の時間の発表を見にいきました。自分の手で調べ、自分の言葉で語る姿が嬉しくて、「勉強になったよ。ありがとう。」と声をかけると、二人の女子生徒はこりと笑顔になりました。それだけのこと。ただ、それだけのことです。

歯を磨きにくくと数人の男子生徒がいました。その生徒が「校長先生、歯磨きですか」というので、「いつもこうやって自分を磨いているんだ」と言っただけ、皆でハハハツと笑いました。それだけのこと。ただそれだけのことで

す。コロナウイルスは私たちから様々なことを奪います。しかし、奪われたら生み出せばいいじゃないですか。たわいもない、ただそれだけの日常の中に幸せを見つけ、生み出すことができれば、幸せは無限になるのです。どうすれば幸せを生み出せるのか、何が幸せなのか、それはみなさんが考え続けられたいと思います。

幸せを生み出した一例として、ある少年の話をして終わりにします。それは昭和の時代の話です。当時は今とだいぶ違うことが結構ありました。パソコンもなければ、テレビのリモコンも珍しくて、もちろんテレビゲームなんて今のようなものもなく、携帯電話もありませんでした。ですから、町や施設のいたるところに電話がおかれ、それを利用するのが当たり前でした。その電話は10円玉をいれれば、3分間話ができただけです。そんな時代の話です。

その少年は、病気を抱えていました。ですから、病院に入院して過ごさねばなりません。人から隔離されなければならなかったため、一人、病院で生活するしかなかったのです。

ある日のこと。病院の方が、少年に言いました。「今日はプレゼントだよ。お小遣いをあげよう。」そう言って、千円札を渡したのです。ところが少年は首を振り、こう言いました。「千円札なんかいらぬよ。その代わり、10円玉をください。」

「どうして。千円の方がたくさん買えるでしょ」

「僕は10円玉がいいんだよ。だって、10円玉ならお母さんと電話で話すことができるでしょ」

そう言うのにこししながら10円玉を一つ受け取ったそうです。少年が見つけ、生み出した幸せ。それはお母さんと話ができる、それだけのこと、ただそれだけのことでした。

本日は本年度最後の登校日です。そして明日は卒業式。それは同時に、皆さん全員が新たなステージに一步を踏み出すことを意味します。卒業式に参加するのは3年生のみですが、1、2年生もどんな自分から卒業し、どんな自分を目指すのか、心を整えておきたいですね。新しい扉を開けるときには、誰しも期待と不安を抱くものです。でも大丈夫。できることを一つずつ。さりげない日常の中から、自分なりの幸せを見つけ、生み出していけばよい、それだけのこと。ただ、それだけのこと。でも、それが生きるということ。

飯綱中学校緊急メールについて

スマートフォンのキャリア変更等でメールアドレスに変更がある場合は、再登録をお願いします。登録は現学年でお願いします。新年度の学年の更新、3年生の登録解除などは学校で行います。

飯綱中学校緊急メール登録手順

登録手順については保護者のみ公開します。ご了承ください。

《人事異動のお知らせ》 令和3年度末で転退職される先生方

氏名	転出先
藤木 拓道	長野県教育委員会事務局義務教育課
伊藤 秀雄	長野市立裾花中学校
三浦美喜子	長野市立三陽中学校
六川 健志	中野市立豊田中学校
山崎 亘	須坂市立常盤中学校
宮下 健司	佐久市立切原小学校
山崎 正彦	飯綱町立飯綱中学校（継続）
小林 亨	信濃町立信濃小中学校
中山 幸喜	長野市立東北中学校
塚田 弘美	長野市立三陽中学校
宮崎久美子	小川村立小川中学校
久保 秀史	長野市立松代中学校
勝山 厚志	長野市立裾花中学校
土屋 裕美	長野市立豊野中学校

保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力によりまして、今年度も無事に終了の時を迎えました。皆様から温かなご支援、ご協力を受け賜りましたこと、職員一同、感謝申し上げます。

来年度も飯綱中学校の子どもたちの成長のため、努力して参りますので、かわらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。